



女子マススタートで優勝し、表彰式で笑顔を見せる高木美帆(中央)。左は2位の佐藤綾乃、右は3位の金ボルム

## マススタート 五輪想定、意味ある戦術

高木美帆が女子最終種目のマススタート(16周)でも頂点に立ち、有終の美を飾った。来季の平昌五輪(韓国)から正式種目となるマススタートは、シングルトラックで多数の選手が滑走するため、戦略が求められる。「作戦通りできた。金メダルは姉(高木菜那)と佐藤(綾乃)のおかげ」と感謝した。この日は日本チームの作戦通りだった。世界距離別選手権(韓国)で2位だった高木菜那を1位の金ボルムら韓国勢がマーク。自分への警戒が薄いと感じた高木美と佐藤綾乃が3周目にピッチを上げて先頭に出た。スピードをコントロールしている間に、中間地点では半周

スタートで高木美帆(日本大一帯南商高出)が優勝し、今大会3個目の金メダルを獲得した。姉

## 地元で納得の滑り「幸せ」

ほどとの差。

○・佐藤綾乃は女子マス

スタートで優勝した高木美帆と佐藤綾乃が、少しずつ落としながら

立つた。

○・佐藤綾乃は

五輪に向け自信

に立つた。

# 美帆3冠

## 女子マススタート優勝 佐藤2位



【女子マススタート】3位集団を引っ張る高木菜那(日本電産サンキヨー)が制した。同同高田(日本電産サンキヨー)は4位。釧路管内厚岸町の佐藤綾乃(高崎健人)が2位に入った。男子1500mは日高管内浦河町出身の小田卓朗(開発計画研究所)が1分46秒76の大会新2位に入り、北見市出身の近藤太郎(車大)が3位と健闘した。金敏錫(キム・金和彦、新井拓海)

スピードスケート競技は23日実施した。日本勢は女子マススタートで高木美帆(日本大一帯南商高出)が優勝し、今大会3個目の金メダルを獲得した。姉

タードで高木美帆(日本大一帯南商高出)が優勝し、今大会3個目の金メダルを獲得した。姉

タードで高木美帆(日本大一帯南商高出)が優勝し、今大会3個目の金メダルを獲得した。